

<u>CLASSE :</u>	<p>～サンテティック・メソッドで学ぶ～</p> <h1>過去分詞</h1> <h2>SynM-40/8L</h2>
<u>Jour :</u>	木曜日
<u>Horaires :</u>	10:00-11:50
<u>Niveau :</u>	A2
<u>M./Mme :</u>	M. ITO Keisuke
<u>Objectifs :</u>	<p>「サンテティック・メソッド」により、単に文法だけを学ぶのではなく、絵と録音を使用し、「聞く・話す」力も合わせて養います。文法としても、単に過去分詞だけ勉強するのではなく、文の構造を分析しながら、その中での過去分詞の働きを理解する練習をします。</p>
<u>Descriptif :</u>	<p>過去分詞は、たいてい複合過去形を勉強する際に初めて習い、受動態を勉強するときにもまた出てくるといったように、何かに付随して習うことの多い項目です。そのため、なんとなく複合過去と混ざって、「過去のことを言う何か？」と曖昧に認識されることすらあります。ですが、フランス語の文章では過去分詞が単独で用いられることも少なくありません。その場合はどのような意味になるのでしょうか？</p> <p>この授業は、そんな過去分詞を中心に取り上げ、その作り方や使い方を整理していきます。複合過去や受動態はもちろん、単独で用いる場合もあわせて勉強していきます。性数一致についても取り上げます。</p>
<u>Matériel :</u>	プリント教材を使用します。
<u>Remarques :</u>	